

【本を読んでいた子供が椅子から立ち上がり、ガラス窓を閉める】

課題（１）背景画を描く（３０分）

キャラクターが演技する舞台（背景の設定）を、キャラクターが演技する範囲を考慮にいれながら出来るだけ簡単な線で描き出しなさい。

窓の大きさ等は別紙の「キャラクターと大道具、小道具との対比」表を参照すること。

〔舞台設定〕

- ・窓のある洋間。日中である。
- ・窓は横開きの２枚のガラス窓。
- ・片側のガラス窓があいている。
- ・窓にはレースのカーテンがかかっている。
- ・カーテンのレース模様を描く必要はない。無地の四角い布としてあつかってかまわない。

〔手順〕

- ・窓の高さ、大きさ、椅子の位置と方向、キャラクターの大きさ、ゆれるカーテンとの関係をよく考えて舞台を設定する。
- ・洋間らしい雰囲気も考慮する。

課題（２）人物の動きを描く（６時間）

以下の演技内容を２０枚程度のラフスケッチで描きなさい。

１５枚以下は不可とする。

誇張された動きやアイデアを競おうとしないで、人間の自然な動きを目指すこと。

頭の中で考えるだけでなく、じっさいに自分で演技してみて、動きを確認しながら描くことが有効。（競技機の近くに演技スペースを設け、メモを取るための机を設置）

キャラクターは別紙の「キャラクター設定」を使用すること。

〔演技内容〕

- ・子供が窓辺の椅子にかけて本を読んでいる。
- ・ふいに外から風が吹き込み、窓のカーテンが大きくゆれる。
- ・子供が立ち上がり、本を椅子に置き、あいていた窓を閉める。
- ・カーテンのゆれがおさまり、子供は椅子にもどってまた本を読みだす。

〔手順〕

- ・演技の概略をどこからでもいいので描いてみて、その前後を描き足してゆく。
- ・ただし、人によっては１から順に並べて描く方が楽な場合もあるので、描く順番は各自で判断してよい。
- ・ある程度出来たところでパラパラ漫画の要領で動きを確かめ、直すところがあれば直して完成させる。

（次ページに続く）

〔手順の続き〕

- ・キャラクターの細部にこだわる必要はなく、ポーズや顔の向き、手の形等、演技に必要な要素が見る人に伝わる程度のラフスケッチでよい。
- ・ラフスケッチができたら、タイミングを決め、タイムシートに書き込む。
- ・総秒数は6～8秒程度とする。
- ・通常のセルアニメーションと同様、Aセル、Bセル、Cセル等のセル分けをしてよい。
- ・セル分けはしなくてもよい。

【キャラクター設定】 12歳くらいの少女



